

令和5年10月16日

報 告 書

江田島市議会議長 吉野 伸康 様

令和5年度議会報告会 2班
江田島市議会議員 沖 也寸志 (班長)
江田島市議会議員 上松 英邦 (副班長)
江田島市議会議員 吉野 伸康
江田島市議会議員 浜西 金満
江田島市議会議員 沖元 大洋
江田島市議会議員 古居 俊彦
江田島市議会議員 美濃 英俊
江田島市議会議員 平本 美幸

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日程 開催地及び人数

	開催日時	会場	参加人数
能美地区	7月25日(火) 13:30~15:30	能美市民センター 1階多目的室	10人 男4人 女6人
大柿地区	7月27日(木) 13:30~15:30	大柿市民センター 集会室	14人 男7人 女7人

2 役割(司会、報告者、受付、記録)

区 分	能美地区	大柿地区
司 会	上松 英邦	上松 英邦
報 告 者	予算：沖 也寸志 総文：平本 美幸 産厚：美濃 英俊	予算：沖 也寸志 総文：平本 美幸 産厚：美濃 英俊
答 弁	全 員	全 員
受 付	浜西 金満 平本 美幸	浜西 金満 平本 美幸
記 録	古居 俊彦 美濃 英俊	古居 俊彦 美濃 英俊
タイムキーパー	事務局	

3 令和5年度予算報告

下記の事項について報告しました。

- (1) 令和5年度予算の概要について
- (2) 各常任委員会からの報告について
(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)

4 意見交換会

〈市民からの御意見〉

【能美地区】 (2グループの意見を集約したもの)

(1) ごみ問題について

- 道路端のごみステーションには不法投棄が多く、声をかけても投げ出してしまう人がいるので監視カメラを設置してほしい。
- ごみステーションは定期的に掃除活動も行っているが、効果は一時的で、すぐに元に戻ってしまう。
- 最近、アパートの住民が増えているが、彼らは自治会に加入していないため、転入時に市役所などで自治会への加入を勧めてほしい。
- ごみの出し方については簡単な説明しかされておらず、詳細なルールは各自治会によって異なっている。
- 女性会で古紙の分別が行われている。チラシは新聞に挟んで出しているが、コピー用紙・紙類は新聞や雑誌に挟んで出されているので明確なガイドラインがあれば分かりやすい。

(2) 人口問題について

- 地元に若者を引き留めるための魅力が必要であるが、自主財源が不足しており、あらゆる面で中途半端である。
- 医療費の負担を軽減するとともに、中学生以下の医療費を無料としてほしい。
- 共働きの家庭においては、ファミリーサポートなどの活用がもう少し増えると島から通う場合も楽であるため、更なる広報活動を期待している。
- 通勤の定期券にも補助を付けてほしい。
- 大柿高校在学中に資格を取得できるような環境整備が必要。
- 旧ユウホウ紡績工場跡地に企業を誘致して税収を増やすことを期待している。

(3) 江田島荘について

- 市長は開業前に期待を高めたが、実際には期待外れだった。少し雇用が生まれたものの、もう少し市民に寄り添った風呂利用、食事等考えてほしい。

(4) 高齢者のスマホ問題について

- 料金設定が理解できていない。

○どこで無料の Wi-Fi が利用できるかを もっと宣伝してほしい。さらに、市民センターなどの場所で無料 Wi-Fi を増やしてほしい。

(5) 高速艇の運航について

○牡蠣に関連することが原因かは分からないが、正確な時刻どおりに運航してほしい。

(6) イノシシ対策、空き家問題について

○近所に空き家が増え、小動物の住処になったり、隣家に迷惑がかかる場所が増えている。さらにイノシシが農地を荒らし住宅地にも出没し困っているが、民地であるため、近所の人を整備してあげられない。そして、市はどこまで関与してくれるのかということが心配である。

○イノシシを食肉として利用することも検討してほしい。

○草丈が1 m以上伸びた空き地は、イノシシの隠れ場所となっているため、モデル地区として、空き地を住宅地の周辺に設けないように市で除草を行ってほしい。

(7) 公園整備について

○子供達のがのびのびと遊べる遊具のある公園が欲しい。財政面での問題でなかなか難しいが、せめて各町に1か所、遊具があり幅広い世代で利用できる公園がほしい。

(8) 自転車の整備について

○普段の日常生活において自転車を利用するが、故障等の場合に修理してくれるお店がなく不便で困っている。本市には多くのサイクリストも訪れるので整備してほしい。

【大柿地区】（3グループの意見を集約したもの）

(1) 民生委員の不足について

○民生委員のなり手不足により、今後のサービスに支障を来すのではないかと、勧誘にもっと力を入れてほしい。

○民生委員が75歳以上を境に辞めてしまい、現在欠員が出ている状況である。報酬の上乗せを検討すべきである。

(2) ごみ問題について

○ごみ出しの分別、曜日を守らないマナーの悪い人が多いし、幹線道路沿いのごみステーションは他地区の人が捨てるケースがあるので困っている。

○監視カメラが不足しているということであるが、付ければごみステーションがきれいになるのではないかと。

○回収の対象とならない粗大ごみを持ってくる人がいるため、粗大ごみに関

しては有料化を進めてはどうか。ごみ出しのマナーについて、子供の頃からの社会教育が重要である。

(3) 江田島荘について

○江田島荘については、市民が気軽に食事や入浴ができるよう、市民に寄り添った運営をしてほしい。

○江田島荘を起点とした観光ルートを考えてほしい。

(4) 小学校の不登校について

○小中学校の不登校の問題は、不登校になる前に、議会も教育委員会や学校に出向き、原因についてしっかりと掘り下げ、改善に努めてほしい。早期発見・早期対策が重要である。

(5) 補助金制度について

○市から補助金をたくさん出しているようだが、その補助金の成果や検証、費用対効果を議会としてしっかり把握しているのか。

(6) イノシシ対策について

○鶏がイノシシに襲われ、役場に報告したところ、イノシシは生き物だから仕方ないとの回答であったが、生活に大きな影響を与えている問題であるため、解決策を見つけてほしい。

○イノシシは子供をたくさん産み、すぐに増える。年間で約1,000頭が捕獲されているが、処理にも困難が伴うため、早急に対策を講じてほしい。

(7) 雇用問題について

○1次産業の雇用が低下し、地域の活性化につながらない。

○広島市内から通勤している市役所職員や、農協なども合併や合理化に伴い、人数が減っている。雇用機会の不足により子供たちも帰れない状況が生まれている。

(8) 施設等の整備について

○自治会館の玄関ポーチ（コンクリートの剥離等）が危険であるため、修理が必要。また、玄関内及び3階から雨漏りも発生している。

○老人集会所の敷地が危険であり、安全な避難場所を確保する必要がある。

○大君は市の玄関口となっており、よく目立つため、しっかり整備してほしい。

(9) 空き家対策について

○空き家の瓦が風で落ちて危険なため、持ち主に指導をしてほしい。

○補助金の情報をもっと分かりやすく教えてほしい。

(10) 老人給食について

○市では、女性会が定期的に85歳以上の人々に配る活動をしているが、若い人が少ないため配達に困っている。

(11) 地域の課題（秋祭り）について

○秋祭りを開催するに当たり、老人会が主体となって開催・準備・片付け等を行うが、高齢化が進んでおり、継続して行うのが難しくなっている。

(12) 道路整備について

○水路が土砂や枯れ葉、ごみなどで塞がり、詰まっている箇所が多い。
災害を未然に防ぐという意味においても、しっかりと対策を検討してほしい。

(13) 放課後児童クラブについて

○現在中町の放課後児童クラブでの利用時間が延長されているが、中町以外の地域は利用時間の延長がされていないため、他の地域の方からは「迎えに行くのが難しい」という声が上がっている。現在は働き方も多様となり土曜日にも仕事をされている方も多いため、今後、他の児童クラブでの土曜日開所や利用時間の延長を前向きに検討してほしい。

(14) 市役所窓口対応について

○市役所の窓口に行って、誰も声をかけてくれず、不安に感じることもある。せめて「どうされましたか」と、一言声をかけてほしい。これは、すぐに対応できることだと思うので、早急に改善してほしい。

5 市民意見のまとめ

意見交換会では、能美・大柿会場とも住民が4・5人ずつのグループに分かれ、個々の意見を聞くこととなりました。地域の問題や市に対する要望について、参加者から、質問や意見が活発に行われ、グループ分けが有効となったことで、少しでも多くの参加者の思いを汲み上げることができました。

その中でも意見が多かったイノシシの問題は、人的被害にも及ぶ深刻な問題であり、空き家対策を含め、さまざまな対策を行政と地域が協力しながら早急に取り組む必要があると考えます。

また、ごみ問題については、適切なごみ出しとリサイクルの大切さを意識することが、次世代が安心して暮らしていくことのできる環境や資源を守ることにともつながる大切な要素であると認識しました。

さらに、人口減少や雇用問題対策として、企業誘致や移住・定住への取組を押し進めることで、地域社会の活性化、ひいては持続可能な江田島市の構築を目指していく必要があります。

全体を通し、様々な意見をいただいた中で、議員は市民に話をしてもらえよう仕向けることが重要であるとともに、市の施策に対する疑問に対しては、「そうですね。」とだけでは済まさず、議決した理由を明確に説明する必要があると感じました。

しかしながら、意見を聞き、説明するだけで納得し、解決する問題は少ないため、今後、これらの問題に対する課題を所管の委員会、または議会全体の課題として捉え、改善に向けて執行部とも調整を図り、その経過をしっかりと市民の皆様へ示していきます。

6 総括（議員による市民懇談会の反省と今後の課題）

高齢者の参加者も多い中、報告が駆け足だったため、もっと丁寧に対応する必要がありました。説明についても、過去・現状・将来を踏まえた話が必要で、現在の数字だけを話しても中身が薄いように感じました。

また、予算説明の内容は、少し難しいようにも思われたため、要点のみ説明し、なるべく分かりやすい説明に努める必要があると思います。

さらに、報告・様式についても改善の余地があり、市民懇談会の結果をどう活用し、報告するかが明確にされていませんでした。また、周知も早めに行うべきであり、参加者の幅広さも考慮し、地域に出向いて意見交換をするなど、開催時期や開催時間も含め、従来の方法を見直していく必要があるように感じました。

最後に、今年度は猛暑日での開催となりました。炎天下の中で足を運んでいただいた参加者に対して飲料を準備しておらず、配慮に欠けていた点がありました。今後は参加者への配慮を心掛け、より良い懇談会に向けて取り組んでいきたいと考えます。